



藤本英子 Hideko Fujimoto

京都市立芸術大学 美術学部及び美術研究科教授

URL : <http://www.kcua.ac.jp/professors/fujimoto-hideko/>
Email : f-d612@nifty.com
〒610-1106 京都市西京区大枝沓掛町13-6
TEL: 075-334-2322

■主な経歴

- 1982年 京都市立芸術大学美術学部工芸科デザイン専攻卒
- 1982年 株式会社東芝入社 デザインセンター所属
- 1989年 株式会社東芝退社 独立
- 1992年 建築士事務所エフ・デザイン設立
- 2001年 京都市立芸術大学就任
- 2005年 九州産業大学博士課程修了(芸術)学位取得

■所属等

- 京都市立芸術大学美術学部及び同大学院美術研究科教授
- 日本デザイン学会 (評議委員)
- 一般社団法人芸術工学会 (理事)
- 公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会(理事)
- 一般社団法人大阪デザインセンター (評議委員)
- 公益社団法人土木学会会員 (土木遺産選定委員)
- 平成の京町家コンソーシアム会員 (運営委員長)
- アクティブブレイン協会 認定講師
- メンタルヘルス協会 認定基礎心理カウンセラー

■活動のビジョン

環境デザインは、様々なものの関係性をつくる分野だと捉えています。都市計画、建築、土木、造園、製品デザインなど個別の分野をつなぐことが重要です。地域の景観はその生活者が質の責任を負うべきと考え、生活者と行政、事業者をつなぐ役割を担います。景観まちづくりと地域の産業に根付いたものづくりの相乗効果が、人々の生活の質を上げていくと考えて行動しています。

■自身が考える都市デザイン、まちづくり等の課題と解決策等

日本の景観には、四季折々の変化豊かな自然という魅力的な資源があります。また、日本人の繊細さは清潔で整備された都市を形成して来ました。しかし近年の急激な開発や私権重視のデザインは、多くの煩雑な景観を生み出しています。地域魅力の再検証、コンセンサスをとりながらの魅力的な地域形成が、国内外から地域の価値を高め、地域住民の生活を向上させることでしょう。

■自身が関わった活動・作品・現場の概要

- 1 景観行政支援活動：幅広く地域の景観を司る地域の自治体で、様々な形で景観形成に関わります。
- 2 地域まちづくり支援活動：地域毎で景観まちづくりを考える時に、活動の中心となる自治会や協議会を専門家としてサポート、アドバイスをを行います。
- 3 著書、論文等：景観関連、デザイン関連の研究、著書、発表。
- 4 屋外広告物景観推進活動：景観との関係が常に課題になるこの分野で、行政のサポートだけでなく、業界団体と共に今後の屋外広告物のあり方を検討研究しています。
- 5 景観色彩研究等：色彩から景観を考える活動を、新たな手法も活用し推進しています。
- 6 「水都大阪」推進：初期から大阪府、市の取組みにかかわり、道頓堀、中之島などで、水辺の活用推進にあたって来ました。民間団体でも様々なチャレンジを繰り返す中で水辺の可能性を探っています。
- 7 デザイン振興：デザイン業界の活性化と、関西や日本のよさを活かす取り組みを、分野を超えたデザイン活動として推進しています。

1 景観行政支援



- ・審議会委員 (京都府、滋賀県、南丹市、篠山市、姫路市他)
- ・景観アドバイザー (近畿地方整備局、神戸市、堺市、吹田市、豊中市他)
- ・都市計画審議会委員 (西宮市他)
- ・景観表彰審査 (大阪まちなみ賞、うるおい環境富山賞他)
- ・コンペ審査委員 (大阪北ヤード事業コンペ他)

2 地域まちづくり支援



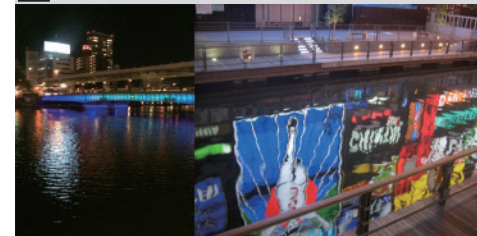
- ・姉小路境界を考える会
- ・北浜テラス協議会
- ・保津川かわまちづくり 他

3 著書、論文等

市民のための景観まちづくりガイド
Citizens' Guide for Making Your Town Beautiful

- ・市民のための景観まちづくりガイド 学芸出版社、2012年
- ・つなぐ環境デザインがわかる (共著) 朝倉書店 2012年
- ・地域景観行政の現状分析と住民主導型景観プロデュースの提案
- ・博士論文 2005年
- ・プロダクトデザイン (共著) ワークス コーポレーション 2009年 他

4 屋外広告物景観推進



- ・屋外広告物講習会講師 (近畿各自治体)
- ・屋外広告物研究会主催 (NPO法人ストリートデザイン研究機構 2012年~)

5 景観色彩分野



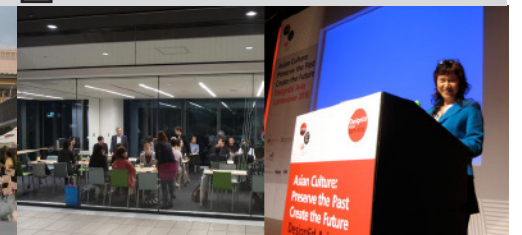
- ・「公共の色彩を考える会」 「街の色研究会・京都」での活動1990年~
- ・景観色彩分析の研究 色彩基準の作成

6 水都大阪推進



- ・大阪府、大阪市「水都」の取組みへの支援
- ・「水都の会」による水辺活用の実践

7 デザイン振興



- 大阪デザインサロン活動 (大阪デザイン団体連合主催) 他

■おすすめ景観

大川、北浜テラス (大阪市)

川の上は都会の中の潤い空間です。水辺は益々注目が集まり、今後も活用が進む空間です。大阪では古くからの「水都」のコンセプトを活かし、10年以上の取り組みを、官民上げて進めて来ました。その成果で、道頓堀、中之島周辺など魅力的な都市空間が広がっています。陸から、橋から、そして水上からの人々の交流も魅力です。

